

医業経営情報

REPORT

Available Information Report for Corporate Management

2018

4

医業経営

平成 29 年決算データからみる 医科診療所経営実績分析

- ① 平成 29 年 医科診療所経営実績分析
- ② 平成 29 年 収入上位診療所の経営実態
- ③ 平成 29 年 診療科目別経営実績分析
- ④ 平成 29 年 医療法人立診療所経営指標分析

税理士法人ゼニックス・コンサルティング

1 | 平成 29 年 医科診療所経営実績分析

1 | 医科診療所経営実績分析の概要

本調査は、平成 29 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している平成 28 年との比較を通じ、前年実績との改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、平成 29 年に決算を終えた無床診療所 364 件（医療法人 241 件、個人開業 123 件）の主要科目について、平均値を算出しています。なお本分析では、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比 (%)
I 医業収入	127, 127	126, 968	99. 9%
1. 保険診療収入	106, 230	105, 914	99. 7%
2. 保険外診療収入	18, 210	18, 519	101. 7%
3. その他の医業収入	2, 687	2, 535	94. 3%
II 変動費	23, 444	23, 354	99. 6%
1. 医薬品・診療材料費	20, 169	20, 016	99. 2%
2. 検査委託費	3, 275	3, 338	101. 9%
III 限界利益	103, 683	103, 614	99. 9%
IV 医業費用	45, 928	46, 123	100. 4%
1. 人件費	13, 917	14, 732	105. 9%
2. その他固定費	32, 011	31, 391	98. 1%
減価償却費	5, 233	5, 244	100. 2%
地代・家賃	6, 786	6, 767	99. 7%
研究研修費	315	305	96. 8%
保険料	2, 910	2, 987	102. 6%
接待交際費	1, 123	1, 168	104. 0%
その他経費	15, 644	14, 920	95. 4%
V 医業利益	57, 755	57, 491	99. 5%

2 | 医科診療所 全体動向と利益の状況

(1) 医科診療所 全体動向

平成 29 年における医科診療所の経営実績は、平成 28 年と比較して、その差は僅かですが減収減益となりました。

今回の調査では、黒字診療所は全体の 86.0%を占めています。

医業収入は 0.1%減、うち保険診療収入は 0.3%減で、変動費は 0.4%の減少となりました。限界利益は 0.1%の減少、また医業費用が 0.4%の増加となり、結果的に医業利益は 0.5%の減少となりました。

■ 医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

前年対比 0.1%減少し、金額にして 159 千円の減収となりました。
保険外診療収入は増加しましたが、保険診療収入とその他収入が減少となりました。

● 変動費

変動費は前年対比 0.4%の減少で、医薬品・診療材料費が同 0.8%の減少、検査委託費が 1.9%の増加となりました。

● 医業費用

前年対比 0.4%増加し、役員報酬と専従者給与を除いた人件費は 5.9%増加しています。
その他固定費は、前年対比 1.9%の減少となりました。

● 医業利益

平成 29 年の平均医業利益は 57,491 千円で、前年対比 0.5%、金額にして 264 千円の減少となりました。

(2) 医科診療所 利益状況

限界利益および医業利益のどちらも減少となりました。

限界利益は前年対比 0.1%、医業利益が同 0.5%減少という結果でした。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
限界利益	103,683	103,614	99.9%
医業利益	57,755	57,491	99.5%

3 | 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入 対前年比較

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では前年対比 99.9%で、ほぼ前期と同じ収入でした。うち保険診療収入は 0.3%の減少、保険外診療収入は 1.7%の増加となりましたが、その他医業収入は 5.7%減少しました。

■ 医業収入

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
医業収入合計	127,127	126,968	99.9%
保険診療収入	106,230	105,914	99.7%
保険外診療収入	18,210	18,519	101.7%
その他医業収入	2,687	2,535	94.3%

(2) 医業収入分析

保険診療収入は 316 千円の減少、保険外診療は 309 千円の増加、その他の医業収入は、152 千円の減少となっています。

4 | 医業費用 対前年増減比較分析

(1) 医業費用 対前年比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。

変動費は 0.4%の減少となり、人件費は 5.9%増加、その他固定費は 1.9%の減少となりました。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費）

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
変動費合計	23,444	23,354	99.6%
変動费率	18.4%	18.4%	0.0%
医薬品・診療材料費	20,169	20,016	99.2%
検査委託費	3,275	3,338	101.9%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
人件費合計	13,917	14,732	105.9%
(参考) 役員報酬	39,664	39,784	100.3%
(参考) 専従者給与	2,808	2,934	104.5%

③その他固定費

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
その他固定費合計	32,011	31,391	98.1%
減価償却費	5,233	5,244	100.2%
地代・家賃	6,786	6,767	99.7%
研究研修費	315	305	96.8%
保険料	2,910	2,987	102.6%
接待交際費	1,123	1,168	104.0%
その他経費	15,644	14,920	95.4%

(2) 医業費用分析

● 変動費

平成 29 年全体平均で 23,354 千円となり、前年と比較すると 0.4%減少しています。
この数値は医薬品・診療材料費及び検査委託費で集計しており、医薬品・診療材料費が 0.8%減少、検査委託費は、1.9%の増加となりました。
なお、変動費率は、変わっていません。

● 人件費

平成 29 年全体平均で 14,732 千円、前年対比 5.9%の増加となりました。
このことから、賃金の改定が継続されていると推測できます。別途集計したデータでは、役員報酬は平成 29 年平均で 39,784 千円、専従者給与は 2,934 千円となっています。

● その他固定費

平成 29 年全体平均で 31,391 千円となりました。
前年と比較すると、金額で 620 千円（前年対比 1.9%）の減少となりました。

2 | 平成 29 年 収入上位診療所の経営実態

1 | 収入上位診療所経営実態調査の概要

第 1 章で分析した無床診療所 364 件（医療法人 241 件、個人開業 123 件）の決算書より、収入上位 20%を抽出して経営データを集計しました。うち 73 件を対象とし、その内訳は医療法人 62 件、個人開業 11 件です。

■平成 29 年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
I 医業収入	265, 221	265, 820	100. 2%
1. 保険診療収入	222, 885	222, 717	99. 9%
2. 保険外診療収入	39, 174	39, 810	101. 6%
3. その他の医業収入	3, 162	3, 293	104. 1%
II 変動費	55, 098	54, 501	98. 9%
医薬品・診療材料費	48, 470	47, 533	98. 1%
検査委託費	6, 628	6, 968	105. 1%
III 限界利益	210, 123	211, 319	100. 6%
IV 医業費用	132, 401	133, 802	101. 1%
1. 人件費	62, 310	65, 056	104. 4%
2. その他固定費	70, 091	68, 746	98. 1%
減価償却費	9, 497	9, 350	98. 5%
地代・家賃	11, 545	11, 397	98. 7%
研究研修費	620	479	77. 3%
保険料	5, 660	6, 014	106. 3%
接待交際費	1, 911	1, 950	102. 0%
その他経費	40, 858	39, 556	96. 8%
V 医業利益	77, 722	77, 517	99. 7%

2 | 収益上位診療所 全体動向

(1) 経営動向と利益状況

平成 29 年診療所全体の経営実績は増収減益でした。黒字診療所の割合は 88.0%で、全体での 86.0%という数値と比べ、収入上位の方が黒字割合は高いという結果となりました。

医業収入は全診療所データでは 0.1%の減収でしたが、収入上位診療所では 0.2%増加しています。また収入上位の診療所では、保険診療収入はほぼ前年並みでしたが、保険外診療収入とその他の医業収入が増加となりました。

変動費は前年対比 1.1%の減少、限界利益は同 0.6%の増加となりました。

医業費用は、人件費が 4.4%増加しており、その他固定費は 1.9%の減少となりました。

■限界利益・医業利益

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
限界利益	210,123	211,319	100.6%
医業利益	77,722	77,517	99.7%

(2) 医業収入・費用等全体の状況

医業収入、限界利益は増加しましたが、医業費用の増加、特に人件費が増加したことにより、結果として、医業利益は 0.3%の減少となりました。

● 医業収入

前年対比 0.2%増加し、金額にして 599 千円の増収となりました。内訳をみると、保険診療収入が前年対比 0.1%減少、保険外診療収入は同 1.6%の増加、その他の医業収入は同 4.1%の増加となりました。

● 変動費

前年対比 1.1%減、金額にして 597 千円の減少となりました。内訳をみると、医薬品・診療材料費は、前年対比 1.9%の減少となりましたが、検査委託費は同 5.1%の増加となりました。

● 医業費用

前年対比 1.1%増、金額では 1,401 千円の増加となりました。その内訳では、人件費が前年対比 4.4%の増加、その他固定費は同 1.9% (1,345 千円) の減少となりました。

● 医業利益

前年対比 0.3%減、金額にして 205 千円減少となりました。医業収入は増加したものの、人件費を中心とする医業費用の増加により、減益の結果となりました。

3 | 医業収入の状況

(1) 医業収入 対前年対比較

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
医業収入合計	265,221	265,820	100.2%
保険診療収入	222,885	222,717	99.9%
保険外診療収入	39,174	39,810	101.6%
その他医業収入	3,162	3,293	104.1%

(2) 医業収入分析 (医業収入上位 20%)

● 医業収入

医業収入は 265,820 千円で、前年に比べ 599 千円（前年対比 0.2%）の増収となりました。

その内訳は、保険診療収入が 222,717 千円（前年対比 99.9%）とほぼ前年並みですが、保険外診療収入は 39,810 千円（同 101.6%）と増加、その他医業収入も 3,293 千円（同 104.1%）と増加となりました。

4 | 医業費用の実態

(1) 医業費用 対前年対比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。変動費は前年対比 1.1%の減少となりましたが、人件費は同 4.4%増加となりました。

一方、その他固定費は同 1.9%の減少となりました。

① 変動費 (医薬品・診療材料費・検査委託費)

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
変動費合計	55,098	54,501	98.9%
変動费率	20.8%	20.5%	△0.3%
医薬品・診療材料費	48,470	47,533	98.1%
検査委託費	6,628	6,968	105.1%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
人件費合計	62,310	65,056	104.4%
参考 役員報酬	54,925	54,314	98.9%
参考 専従者給与	2,400	2,579	107.5%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
その他固定費合計	70,091	68,746	98.1%
減価償却費	9,497	9,350	98.5%
地代・家賃	11,545	11,397	98.7%
研究研修費	620	479	77.3%
保険料	5,660	6,014	106.3%
接待交際費	1,911	1,950	102.0%
その他経費	40,858	39,556	96.8%

(2)医業費用分析

●変動費

平成 29 年収入上位平均では、54,501 千円（前年対比 1.1%減）となりました。

医薬品・診療材料費は 937 千円（前年対比 1.9%）減少し、検査委託費は 340 千円（前年対比 5.1%）増加となりました。

●人件費

平成 29 年収入上位平均で、65,056 千円（役員報酬を除く、前年対比 4.4%増）となりました。

役員報酬の平均は、平成 29 年収入上位平均で、54,314 円（前年対比 1.1%減）となりました。

また、専従者給与の平均額は 2,579 千円（前年対比 7.5%増）でした。

●その他固定費

その他固定費の合計は 68,746 千円で 1,345 千円の減少（前年対比 1.9%減）となりました。

3 | 平成 29 年 診療科目別経営実績分析

1 | 診療科目別経営実績分析の概要

本分析で抽出したデータは、平成 29 年に決算を終えた無床診療所 364 件（医療法人 241 件、個人開業 123 件）から診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しています。

なお、対象とした診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科で、第 1 章のデータ同様、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

また、参考として平成 29 年各診療科目上位 20% データを記載しています。

■各データのサンプル数

●内科	123 件	（医療法人	76 件、個人開業	47 件）
●小児科	32 件	（医療法人	21 件、個人開業	11 件）
●心療内科	15 件	（医療法人	8 件、個人開業	7 件）
●整形外科	28 件	（医療法人	22 件、個人開業	6 件）
●皮膚科	25 件	（医療法人	15 件、個人開業	10 件）
●耳鼻咽喉科	22 件	（医療法人	14 件、個人開業	8 件）
●眼科	15 件	（医療法人	9 件、個人開業	6 件）

個別データは、次ページ以降に紹介しています。診療科目別に集計した主要科目別数値は下記のとおりです。

■平成 29 年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻 咽喉科	眼科
医業収入	115,931	114,656	95,577	150,109	105,679	83,119	132,689
変動費	19,412	29,615	4,223	14,825	10,067	5,231	27,560
限界利益	96,519	85,041	91,354	135,284	95,612	77,888	105,129
医業費用	49,362	42,959	39,321	84,312	50,195	36,702	48,794
人件費	22,991	18,544	18,286	43,988	17,464	19,837	12,614
医業利益	47,157	42,082	52,033	50,972	45,417	41,186	56,335
参考：役員報酬	30,447	28,127	35,524	38,312	34,695	22,997	32,998

2 | 診療科目別経営実績分析結果

(1)内科診療所

内科等を標榜している診療所の集計データの内訳は、一般内科 96 件、循環器内科 13 件、消化器内科 10 件、呼吸器内科 3 件、その他 1 件の計 123 件です。

内科診療所は増収増益を示し、医業収入は 0.6%の増加で、変動費は 0.2%の減少、医業費用は 1.2%増加し、結果として医業利益は 0.3%増加して 47,157 千円となりました。

なお役員報酬は、平成 29 年平均で 30,447 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	115,241	115,931	100.6%	242,699
1. 保険診療収入	102,471	102,608	100.1%	219,054
2. 保険外診療収入	10,249	10,887	106.2%	20,457
3. その他の医業収入	2,521	2,436	96.6%	3,188
II 変動費	19,453	19,412	99.8%	53,281
1. 医薬品・診療材料費	15,229	15,278	100.3%	45,983
2. 検査委託費	4,224	4,134	97.9%	7,298
III 限界利益	95,788	96,519	100.8%	189,418
IV 医業費用	48,789	49,362	101.2%	114,724
1. 人件費	21,706	22,991	105.9%	65,868
2. その他固定費	27,083	26,371	97.4%	48,856
減価償却費	4,710	4,896	103.9%	7,645
地代・家賃	6,234	6,227	99.9%	9,751
研究研修費	244	255	104.5%	444
保険料	2,998	3,071	102.4%	6,558
接待交際費	971	981	101.0%	1,300
その他経費	11,926	10,941	91.7%	23,158
V 医業利益	46,999	47,157	100.3%	74,694

(2)小児科診療所

小児科診療所は減収減益となり、保険診療収入は 5.8%減少となりました。

変動費は 2.5%増加、医業費用は 0.7%減少、結果として医業利益は 4.7%減少し、42,082 千円となりました。

役員報酬は、29 年平均で 28,127 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	116,309	114,656	98.6%	184,066
1. 保険診療収入	73,694	69,419	94.2%	111,650
2. 保険外診療収入	38,367	40,435	105.4%	65,822
3. その他の医業収入	4,248	4,802	113.0%	6,594
II 変動費	28,894	29,615	102.5%	49,671
1. 医薬品・診療材料費	25,571	26,301	102.9%	40,881
2. 検査委託費	3,323	3,314	99.7%	8,790
III 限界利益	87,415	85,041	97.3%	134,395
IV 医業費用	43,277	42,959	99.3%	70,457
1. 人件費	17,753	18,544	104.5%	37,684
2. その他固定費	25,524	24,415	95.7%	32,773
減価償却費	3,515	3,442	97.9%	4,969
地代・家賃	5,908	5,862	99.2%	7,986
研究研修費	626	423	67.6%	910
保険料	2,061	2,059	99.9%	3,174
接待交際費	1,023	1,160	113.4%	1,745
その他経費	12,391	11,469	92.6%	13,989
V 医業利益	44,138	42,082	95.3%	63,938

(3)心療内科診療所

心療内科診療所は、増収増益となりました。

医業収入（前年対比 1.1%）、医業利益（前年対比 3.8%）ともに増加し、変動費は 2.0%の減少、医業費用も 2.0%の減少となりました。

役員報酬は、平成 29 年平均で 35,524 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	94,532	95,577	101.1%	193,405
1. 保険診療収入	86,569	88,036	101.7%	175,179
2. 保険外診療収入	4,130	3,792	91.8%	5,402
3. その他の医業収入	3,833	3,749	97.8%	12,824
II 変動費	4,309	4,223	98.0%	11,246
1. 医薬品・診療材料費	1,971	1,706	86.6%	4,205
2. 検査委託費	2,338	2,517	107.7%	7,041
III 限界利益	90,223	91,354	101.3%	182,159
IV 医業費用	40,112	39,321	98.0%	106,443
1. 人件費	19,286	18,286	94.8%	67,100
2. その他固定費	20,826	21,035	101.0%	39,343
減価償却費	3,974	3,611	90.9%	8,223
地代・家賃	4,885	5,423	111.0%	8,327
研究研修費	293	205	70.0%	353
保険料	4,207	4,108	97.6%	6,826
接待交際費	758	758	100.0%	1,454
その他経費	6,709	6,930	103.3%	14,160
V 医業利益	50,111	52,033	103.8%	75,716

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所は増収増益となり、医業収入は 0.1% の増加となりました。

変動費は 5.9%、医業費用は 0.5% 減少し、結果として医業利益は 2.9%、金額にして 1,441 千円の増加となりました。

役員報酬は、平成 29 年平均で 38,312 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位: 千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	149,988	150,109	100.1%	253,691
1. 保険診療収入	133,827	132,875	99.3%	228,222
2. 保険外診療収入	15,277	16,276	106.5%	24,793
3. その他の医業収入	884	958	108.4%	676
II 変動費	15,753	14,825	94.1%	19,212
1. 医薬品・診療材料費	14,245	13,039	91.5%	15,812
2. 検査委託費	1,508	1,786	118.4%	3,400
III 限界利益	134,235	135,284	100.8%	234,479
IV 医業費用	84,704	84,312	99.5%	151,381
1. 人件費	44,516	43,988	98.8%	81,342
2. その他固定費	40,188	40,324	100.3%	70,039
減価償却費	5,456	5,580	102.3%	5,035
地代・家賃	9,235	9,121	98.8%	14,510
研究研修費	347	354	102.0%	487
保険料	3,947	4,311	109.2%	6,388
接待交際費	1,646	1,881	114.3%	2,599
その他経費	19,557	19,077	97.5%	41,020
V 医業利益	49,531	50,972	102.9%	83,098

(5)皮膚科診療所

皮膚科診療所は増収増益となり、医業収入（前年対比 1.4%）、医業利益（前年対比 2.1%）ともに増加し、変動費は 3.2%減少した一方、医業費用は 1.7%の増加となりました。

役員報酬は、平成 29 年平均で 34,695 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	104,248	105,679	101.4%	185,178
1. 保険診療収入	80,822	82,672	102.3%	139,180
2. 保険外診療収入	19,580	19,175	97.9%	44,331
3. その他の医業収入	3,846	3,832	99.6%	1,667
II 変動費	10,405	10,067	96.8%	22,544
1. 医薬品・診療材料費	9,415	9,066	96.3%	20,751
2. 検査委託費	990	1,001	101.1%	1,793
III 限界利益	93,843	95,612	101.9%	162,634
IV 医業費用	49,370	50,195	101.7%	73,241
1. 人件費	17,762	17,464	98.3%	15,804
2. その他固定費	31,608	32,731	103.6%	57,437
減価償却費	4,230	4,959	117.2%	10,017
地代・家賃	7,430	7,494	100.9%	9,541
研究研修費	269	245	91.1%	203
保険料	2,646	2,681	101.3%	3,300
接待交際費	1,351	1,425	105.5%	3,479
その他経費	15,682	15,927	101.6%	30,897
V 医業利益	44,473	45,417	102.1%	89,393

(6)耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科診療所は減収減益となり、医業収入は 1.1%の減少となりました。

変動費は 1.1%の減少、医業費用は 0.7%増加し、結果として医業利益は 2.7%、金額にして 1,154 千円の減少となりました。

役員報酬は、平成 29 年平均で 22,997 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	84,076	83,119	98.9%	125,334
1. 保険診療収入	82,339	81,444	98.9%	122,046
2. 保険外診療収入	823	785	95.4%	1,352
3. その他の医業収入	914	890	97.4%	1,936
II 変動費	5,291	5,231	98.9%	7,221
1. 医薬品・診療材料費	3,604	3,608	100.1%	4,122
2. 検査委託費	1,687	1,623	96.2%	3,099
III 限界利益	78,785	77,888	98.9%	118,113
IV 医業費用	36,445	36,702	100.7%	62,411
1. 人件費	19,434	19,837	102.1%	35,344
2. その他固定費	17,011	16,865	99.1%	27,067
減価償却費	4,196	3,954	94.2%	5,888
地代・家賃	7,198	7,094	98.6%	10,435
研究研修費	204	353	173.0%	237
保険料	2,461	2,316	94.1%	3,628
接待交際費	735	703	95.6%	617
その他経費	2,217	2,445	110.3%	6,262
V 医業利益	42,340	41,186	97.3%	55,702

(7)眼科診療所

眼科診療所は減収減益で、医業収入は前年対比 0.4%の減少となりました。

変動費が 2.2%増加しましたが、医業費用は 0.7%減少しました。結果として医業利益は 1.3%、金額にして 736 千円の減少となりました。

役員報酬は、平成 29 年平均で 32,998 千円となっています。

■平成 29 年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	平成 28 年	平成 29 年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	133,200	132,689	99.6%	228,684
1. 保険診療収入	131,873	131,312	99.6%	226,419
2. 保険外診療収入	829	846	102.1%	1,421
3. その他の医業収入	498	531	106.6%	844
II 変動費	26,979	27,560	102.2%	63,687
1. 医薬品・診療材料費	26,123	26,687	102.2%	62,080
2. 検査委託費	856	873	102.0%	1,607
III 限界利益	106,221	105,129	99.0%	164,997
IV 医業費用	49,150	48,794	99.3%	77,518
1. 人件費	13,125	12,614	96.1%	19,010
2. その他固定費	36,025	36,180	100.4%	58,508
減価償却費	9,649	9,343	96.8%	13,456
地代・家賃	6,061	5,830	96.2%	7,676
研究研修費	314	241	76.8%	381
保険料	2,100	2,120	101.0%	3,551
接待交際費	990	1,059	107.0%	1,691
その他経費	16,911	17,587	104.0%	31,753
V 医業利益	57,071	56,335	98.7%	87,479

4 | 平成 29 年 医療法人立診療所経営指標分析

1 | 医療法人経営指標分析の概要

本章では、医療法人立無床診療所 241 件を対象として、貸借対照表から経営指標を算出しました。

収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で分析を行っています。

■平成 29 年比較貸借対照表 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	平成 28 年	平成 29 年		平成 28 年	平成 29 年
【流動資産】	66,540	69,519	【流動負債】	17,978	17,500
現金・預金	40,976	43,208	買掛金	4,262	3,985
医業未収金	19,514	19,403	その他	13,716	13,515
その他	6,050	6,908			
【固定資産】	59,781	67,397	【固定負債】	20,931	25,974
《有形固定資産》	28,808	32,554	長期借入金	15,517	20,618
医療用機器備品	4,038	4,111	その他	5,414	5,356
工具器具備品	3,114	3,479	負債合計	38,909	43,474
その他	21,656	24,964	純資産の部		
《無形固定資産》	6,394	7,428		平成 28 年	平成 29 年
ソフトウェア	226	358	【出資金】	9,308	9,309
その他	6,168	7,070	【利益剰余金等】	78,104	84,133
《その他の資産》	24,579	27,415			
保険積立金	23,641	26,214			
その他	938	1,201	純資産合計	87,412	93,442
資産合計	126,321	136,916	負債・純資産合計	126,321	136,916

■平成 29 年比較損益計算書 医療法人立無床診療所平均

経営分析に必要となる主要損益数値は、下記のとおりです。なお、役員及び職員数については平均値を算出し、役員 3 名および職員数 10 名の計 13 名で計算しています。

(単位：千円)

	平成 28 年	平成 29 年	前年対比
医業収入計	150,037	149,706	99.8%
限界利益	124,228	124,354	100.1%
給与費計	76,836	78,087	101.6%
医業利益	7,119	7,040	98.9%
経常利益	8,071	7,973	98.8%

2 | 収益性分析 前年対比

		平成 28 年	平成 29 年	増 減
収益性	総資本経常利益率	6.4%	5.8%	△0.6%
	医業収入医業利益率	4.7%	4.7%	0.0%
	医業収入経常利益率	5.4%	5.3%	△0.1%
	総資本回転率	1.2 回	1.1 回	△0.1 回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

●総資本経常利益率

平成 29 年度の実績は 5.8%で、前年より 0.6%減少していますが、医療法人立診療所の経営効率は依然安定しています。

●医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

医業収入医業利益率・医業収入経常利益率ともに、前年並みの実績となりました。

●総資本回転率

総資本回転率は 0.1 回の減であり、回転率に大きな変化はありませんでした。

3 | 生産性分析 前年対比

		平成 28 年	平成 29 年	増 減
生産性	限界利益率	82.8%	83.1%	0.3%
	1 人当たり医業収入/月	962 千円	960 千円	△ 2 千円
	1 人当たり限界利益/月	796 千円	797 千円	1 千円
	1 人当たり人件費/月	493 千円	501 千円	8 千円
	労働分配率	61.9%	62.8%	0.9%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	限界利益 ÷ 医業収入 × 100
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	(医業収入 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	(限界利益 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	(総額人件費 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100

■生産性分析コメント

●限界利益率

限界利益の増加により、前年よりも数値が 0.3% の増加となりました。

●一人当たり医業収入・一人当たり限界利益・一人当たり人件費

一人当たり医業収入は微減となりましたが、一人当たり限界利益及び一人当たり人件費は、いずれも前年度より微増となりました。

●労働分配率

労働分配率は、前年 61.9% に対し、平成 29 年は 62.8% となり、0.9% 増加しています。

4 | 安全性分析 前年対比

		平成 28 年	平成 29 年	増減
安全性	流動比率	370.1%	397.3%	27.2%
	当座比率	336.5%	357.8%	21.3%
	固定比率	68.4%	72.1%	3.7%
	固定長期適合率	55.2%	56.4%	1.2%
	自己資本比率	69.2%	68.2%	△1.0%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	$\text{当座資産} \div \text{流動負債} \times 100$
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	$\text{固定資産} \div \text{自己資本} \times 100$
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る	$\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{長期負債}) \times 100$
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る	$\text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100$

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は、前年から 27.2%増加しており、引き続き高い短期的な債務返済能力を有していると評価できます。当座比率も、21.3%増加し、換金可能な資産による債務返済能力は高い水準を維持しています。

●固定比率

前年から 3.7%の増加となっています。

●固定長期適合率

前年から 1.2%増加し、56.4%と望ましい水準を維持しています。

●自己資本比率

68.2%と高い水準を維持しており、財務体質は健全な状況であるといえます。

5 | 成長性分析 前年対比

		平成 28 年	平成 29 年
成長性	医業収入増加率	0.5%	△0.2%
	限界利益増加率	0.6%	0.1%
	医業利益増加率	1.4%	△1.1%
	経常利益増加率	2.1%	△1.2%
	自己資本増加率	12.4%	6.9%

■成長性分析コメント

成長性は、医業収入が若干マイナスとなり、変動費の減少により限界利益は増加しましたが、人件費等の増加により、医業利益、経常利益はともに減少となりました。平成 29 年度は、診療報酬改定がなく新たな戦略に取り組む診療所も少なかったため、大きな変動はなかった年度といえます。